

第四十回帝國議會 院 狩獵法改正法律案委員會會議錄(速記)第四回

會議

大正七年三月十五日午前十時五十八分開議

出席委員左ノ如シ

清	峯太郎君	長田	桃藏君
井島	義雄君	石射	文五郎君
松島	肇君	吉田	中君
福田	辰五郎君	古川	清君
伊東	知也君		

出席政府委員左ノ如シ

農商務省農務局長 道家 齊君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

狩獵法改正法律案

○委員長(清峯太郎君) ヲレデハ是カラ開會致シマシテ、第一ニ御報告ヲ申スコトガアリマス、一昨日ノ會デ修正其他ノ事ニ付テ打合ハスル爲メ、小委員ヲ置キマシテ、古川君ト井島君ト福田君ヲ御指名致シマシテ、午後引續イテ小委員會ヲ開キマシテ、政府委員ノ出席ヲ乞ヒ、種々打合ヲ致シマシタ、其結果大體此原案ヲ認メル、修正無シニ認メルト云フコトニ纏リマシタ、第八條ノ狩獵免許稅ノコトニ付キマシテハ、是ハ小委員會デ何トモ決定シマセヌ、原案ヲ認メルトモ修正案ニスルトモ決定致シマセヌ、デ總會ニ掛ケテ總會ノ定ムル所ニ依ルト、斯ウ云フコトニ決定致シマシタ、サウシテ小委員會ハ希望條件ヲ決議シマシタ、其希望條件ハ今私が朗讀致シマス

一野生鳥獸ノ保護蕃殖ヲ圖ルハ農業及林業上極メテ緊要ノ事ナリトス 仍テ政府ハ相當ノ方法ニ基キ狩獵ニ關スル調査研究ヲ遂ケ其成案ノ實行ヲ期スヘキコト

一獵區ハ之ヲ公開シ個人又ハ團體等ノ獨占ヲ許サル方針ヲ以テ施行細則ノ制定ヲナスヘキコト

一主務官廳及各地方廳ニ狩獵取締官吏ヲ置クコト
是丈ノ希望條件ヲ付シテ唯今申上ケルヤウニ、第八條ヲ除クノ外總テ原案ヲ可決スベキモノ、斯ウ云フコトニ小委員會ハ決定致シマシタ、此段報告致シテ置キマス

○松島肇君 サウシマスルト 小委員會ニ於テハ、第八條以外ハ全部原案ノ儘、斯ウ云フコトニナリマス

○委員長(清峯太郎君) サウデス

○松島肇君 サウシマスルト 第八條ノ狩獵免許ノ税金デアリマスガ、此免許稅ノ點ハ本員ハ矢張原案ノ通りニスルコトヲ望ム方デアリマス、畢竟從來ノ稅率ヨリハ是高クナッテ居ルノデ、之ニ修正ノ御見込ガアルナラバ承リタイト思ヒマスガ、本員ハ原案ヲ維持シタイト思ヒマス、ソレカラ今ノ希望條件等ノコトニ付キマシテハ、至極御尤私ハ贊成致シマス

○委員長(清峯太郎君) 希望條件ニ付テ、政府ノ御意見ガアルナラバ伺ヒタイ
○政府委員(道家齊君) 此希望ノ事柄ニ付キマシテハ、政府ニ於テモ別ニ異議ハ御坐イマセヌ、此御希望ニ副フヤウニ十分ニ努メル積リデアリマス

○委員長(清峯太郎君) 小委員會ニ於テ種々懇談ガ換ハサレタノデアリマスガ、狩獵關係ノ事柄ハ從來トハ昨今大分思想ガ變テ來マシタ、狩獵規則ノ初メテ制定サレタ頃ハ、鳥獸ノ蕃殖トカ保護トカ云フコトハ、文字ニアッテモ、實ハ危險物ノ取締ニ重キヲ置カレタヤウデアリマシタガ、近來ハ狩獵ノ智識ガ非常ニ進歩シテ來マシテ、餘程大切ナ事ニナッテ居リマスモノデアリマスカラ、農業若クハ林業等ノ關係モアルシ、旁、政府ニ於テ餘程綿密ナル一ツ調査研究ヲシテ、其成案ノ實行ヲ望ミタイ、今日ノ改正案モ前ノニ較ベマスルト、遙ニ進歩シテ宜シイモノデアリマススケレドモ、マダ理想ニ近イモノデナカラウト思フ、幾多ノ研究スル餘地ガ殘ッテ居ラウト思ヒマスカラ、速ニ一ツ此狩獵關係ノ研究ヲ爲スベク相當ノ經費ヲ支出シ成ベク早ク一ツ成案ヲ求メタイノデアリマス、是ハ獨リ狩獵界ノ全體ノ希望ノミナラス、小委員會ニ於テモ全會一致ノ希望デアッタ、ドウゾ此邊宜シク御諒承置キヲ願ヒマス

○井原百介君 先刻委員長カラ御話ノ第八條ノ點デアリマスガ、免許料ハ私ハ原案デ然ルベキト思ヒマスガ、資格ニ於テモ免許料ヲ上ケルト同時ニ、資格ヲ上ゲラレガ正當デナカラウカト思ッテ居ル、其中地租ノ如キハ是ハ富ノ程度ガ如何ニ上ツタカラトモ、殆ど動カスベキモノデナイト考ヘテ居リマスガ、營業稅所得稅ニ對シテハ、所得稅ハ現ニ率モ上ツテ居ルコトデアリマス、營業稅ハ以前トハ餘程狀態ガ變ッテ居ルノデアリマスカラ、富ノ程度ノ上ツタト云フ點ニ於テ、此資格丈ハ少シク上ゲラレタ方ガ——稅ガ上ルト同時ニ上ゲラレタ方ガ然ルベシト思フノデアリマス、其程度ハ過日委員長カラ御話ガアッタノデアリマス、丁度ソレ位ナモノデ私ハ宜カラウト考ヘテ居リマス

○委員長(清峯太郎君) サウスルト井原君ニ御尋致シマスガ、所得稅二十圓以上、營業稅四十圓以上、一等ハ所得稅百五十圓以上ト改メルノデスカ、サウシテ「又ハ其ノ家族」ト云フ文字ヲ削ルトカ削ラヌトカ——是ハ削リマセヌカ

○井原百介君 其點ハ私ハ何方デモ差支御坐イマセヌカラ、御意見ガアリマスレバ、其通りヤッテモ宜シウ御坐イマス

○石射文五郎君 私ハ第八條ノ狩獵免許稅ヲ除クノ外ハ、小委員會ノ決定通りニ異議ガアリマセヌガ、第八條ノ免許稅ヲ修正シタイト思ヒマス、是ハ最早委員長ヲ初メ屢、言盡サレテ居リマスカラ、繰返ス必要ガアリマセヌ、唯是迄ノ經過ニ徴スルト、三等ガ廉イト云フ爲ニ脫稅ガ多イ、ソレカラ一般財界ノ單位ガ今迄トハ變ッテ來テ居リマス、矢張經濟界ノ膨脹ニ適應シテ幾ラカ、稅率ヲ上ゲルコトガ適當デアラウト考ヘマス、一等ハ五十圓ソレカラ二等ノ課稅率ヲ地租五十圓以上、營業稅三十圓以上、若クハ所得稅ヲ納ムル者又ハ二等ノ家族、之ヲ二十五圓ト致シマス

○委員長(清峯太郎君) 所得稅ヲ納ムル者、是ハ此通りデスカ

○石射文五郎君 是ハ原文ノ通り又ハ二等ノ家族ツレカラ三等ハ「一等及二等以外ノ者」ヲ十圓ト致シマス、ツレカラ 外國人ノ課税ノ事ハ、小委員會デモ別ニ御調ガナカッタノデアリマス

○委員長(清室太郎君) 小委員會デハ調ハアリマセヌガ、外國人ニ一等ヲ課スルト云フコトハ、餘リ穩當デナカラウト云フコトデアッタノデス

○石射文五郎君 私ハ外國人ハ總テ一等トスル方ガ宜イト思ヒマス、一等ノ中ノ課税率ノ中ハ「又ハ其家族及外國人」ト斯ウ入レタイト思ヒマス

○委員長(清室太郎君) サウスルト石射サンノハ一等ノ所得税ニハ關係ガアリマセヌカ

○石射文五郎君 アリマセヌ、二等ハ「地租五十圓以上營業税三十圓以上若クハ所得税ヲ納ムル者」又ハ二等ノ家族「ツレカラ三等ハ「一等及二等以外ノ者」ツレニ一等ノ一番末ニ持ッテ行ッテ「其家族又ハ外國人」ト斯ウナリマス

○松島肇君 第八條ノ免許料ニ付テハ、政府ノ方ニ於テ豫メ御研究ニナッタコト、思ヒマスガ、之ニ付テノ標準ハ何カ根據ガアラウト思ヒマス、本員ノ考デハ先ツ本案ハ完全若クハ完全ニ近イモノト認ムル、併シ將來ハ無論一層進歩シタル改良ヲ加ヘナケレバナラスト考ヘマスガ、先ツ政府ノ方ニ正確ノ標準ガアッテ、之ヲ定メタルモツスレバツレヲ承リタイ、尙ホ前申ス通り本員ハ第八條ハ原案ノ儘デ施行シテ見テ、其弊害ヲ生ズルトキニハ直ニ改正スル、斯ウ云フコトニシタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマス、是ハ本員一個ノ意見デアリマスガ、政府ノ方ニ之ヲ定メタル標準ノ根據ガアレバ承リタイト思ヒマス

○政府委員(道家齊君) 第八條ノ一、二、三等ノ資格ヲ定メル上ニ、確カナル根據ガアルカト云フ御問デアリマスガ、是ハ御承知ノ通り從來斯ノ如ク定メラレタノデアリマシテ、尙ホ今回改正ヲ企テ付キマシテモ、經濟上其他ノ關係モ餘程變化ヲ致シテ居リマスカラ、是モ一應調ベテ見タノデアリマス、所ガ標準ヲ定メルト云フコトハ中ニ困難デアリマシテ、地租或ハ營業税所得税等ハ、累進税ナリ税率ガ種々異ニテ居リマスカラ、之ヲ一律ニヤルト云フコトハ餘程困難デアリマシテ、色々研究ヲ致シマシタ結果、寧ロ現在ノヤウナ一等二等ト云フヤウナ税ヲ納ムル者ノ資格ノ權衡ハ、大概——現行デモ取レテ居ルト考ヘタノデス、ツレデ是ハ色々變更ヲ企テタケレドモ、ドウモ實ハ適當ナル標準ヲ得ナカッタノデス、ツレデ先ツ今日ノ狀況ヲ見マス、例ヘバ一箇年ニ所得税ガ二千圓アル者ハ之ヲ地租ニスルト五百二圓納ムルコトナリマス、ツレカラ所得税ヲ見マス、五百圓納ムル者、營業税ハ百八十三圓餘、斯ウ云フヤウナ風ノ割合ニナルノデス、是等ハ實際ヤッテ見マス、皆税率ガ異ニテ居リマスカラ、餘程六ヶ數イノデス、結局矢張研究致シマシタ結果、大概是デ所得ノ方カラ見マス、大體ニ於テ正鵠ヲ得テ居ルト考ヘマシテ、此資格ヲ現在ノ儘ニ致シマシタ唯茲ニ二等ノ所ニ至リマス、所得税ヲ納ムル者ハ二圓以上トアリマス、所ガ是ハ税法ノ結果ニ依リマシテ、四百圓以上ノ所得アル者トナリマシタカラ、其最低ハ現在六圓二五錢納メルコトナリマス、ツレデ此三圓ト云フモノハ削リマシタノデス、其他ハ唯今申上テマスルヤウニ、資格ヲ定メルコトハ餘程困難デス、先ツ研究ノ結果現行法デ大概權衡ガ取レテ居ルト斯ウ見タノデス、若シ此改正ヲ行フコトニナルト、是ハ中ニ容易ナ事デハナカラウト思ヒマス、故ニ政府ト致シマシ

テハ、現行法ガ先ツ資格ノ權衡ヲ得テ居ルト考ヘテ居リマスカラ、之ヲ御變更ニナルト云フコトハ、餘程御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松島肇君 唯今政府委員ノ御説明デ本員ハ満足致シマシタガ、唯第八條ノ一二等以外ノ三等デアリマス、是ハ一二等ノ者ガ三等ニ名ヲ藉リテ、一二等ニ依ラズシテ脱税ヲシテ狩獵ヲ爲ス者ガ無イモ限ラヌ、此點ニ於テハ大ニ取締ノ勵行ヲ要スルコト、思ヒマス、サウス云フ脱税等ノ無イヤウニ十分取締スルコト云フ條件ノ下ニ、飽迄原案ヲ贊成シマス、政府ノ方ニ於テ免許料ノ事ハ餘程御苦心ノヤウニ承ハリマシタカラ、之ニ依テ先ツ遂行シテ其結果若シ弊害ヲ認メタナラバ、其時ニ御改正ニナッテ然レベシト思フ、唯、前申ス通り第三等ノ脱税等ノ無キコトヲ希望シテ、取締ヲ嚴ニスルト云フ希望ヲ申上テ、本員ハ第八條原案ノ儘通過ヲ希望致シマス、委員長ニ於テ之ヲ御採決ニナル時ニ、本員ハ贊成ト云フコトニ御數ヘテ願ヒタウ御坐イマス

○石射文五郎君 所得税ノ税率其他ニ付テハ、唯今政府委員ノ御話ヲ聽イテ、如何ニモ御調査ノ標準ノ取り方ガ綿密ニ御注意ニナッタ事ハ私之ヲ認メマス、要スルニ私ハ此三等ナント云フモノハ、現在四圓ノモノガ五圓ト云フコトハ、今日ノ財界カラ寧ロ減税ニ等シイ結果ニナルト思フ、既ニ通貨ヲ始メ倍以上ニナッテ居ル今日デア、數年前ニ制定シタ現行法ト比較シテ、僅ニ一圓ヤ五十錢増税シタ所デ、寧ロ是ハ反對ニ減税ニナルト思フコト云フ所カラ、之ヲ拾圓トシテ、或ハ二等ヲ十圓上セ、一等ヲ二十圓上セルト云フ事ハ、今日ノ財界及通貨ノ膨脹ニ對シテ見テモ、決シテ増税デナイト思フ、總テノ物價總テノ經濟上ノ貨幣率ガ上ッテ居リマスカラ、寧ロ此私ノ修正意見デモ今日ノ經濟界ノ狀勢カラ言フト、上セ方ガ足りナイト思フ位ノ感ガスル、尙ホ既ニ政府委員モ原案ヲ維持サレルヤウデアリシ、贊成ノ方モアリマスカラ、或ハ大勢原案ノ通りニ決スルカモ知レマセヌガ、私ノ修正スルト云フコトニ付テノ基礎ヲ、一應申上テ置キマス

○長田桃藏君 最早討論ヲ終結シテ採決セラレンコトヲ望ミマス

○委員長(清室太郎君) 採決スルノデスカドウデセウ採決前ニ一寸休憩シテ、此儘デ御懇談ヲ願ヒタイト思ヒマスガ——井原君ノ御説モアリ、石射君ノ御説モアリマスガ、モウ少シ御話合ヲ願ッたらドラカ全會一致デ纏リハセヌカト思ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(清室太郎君) ツレデハモウ少シ御相談ヲ願フ爲ニ、休憩致シマス

午前十一時二十五分休憩

午前十一時二十七分開議

○委員長(清室太郎君) ツレデハ開會致シマス

○井原百介君 段々政府委員ノ説明モアリマシタシ、計算上容易ナラヌ面倒ガ其間ニ起ルト思ヒマス故ニ、前ニ私ノ提出致シマシタ意見ハ取消シマシテ、原案ヲ贊成致シマス、尙ホ委員會ノ決議ニハ全部贊成致シマス

○石射文五郎君 本員モ修正意見ヲ撤回シテ、小委員會ノ決議通り贊成致シマス

○委員長(清室太郎君) サウ致シマスモウ他ニ御議論モナイヤウデアリマス、長田君

カラ採決ヲセヨト云フ御發議モアリマシタガ、別段是ハ改メテ採決ハ致シマセヌ、小委員
會テ決定致シマシタ八條ヲ除クノ外ハ原案ヲ贊成、但先刻申上ケタ希望ガ附イテ居リ
マス、八條ハ御審議ノ結果是亦原案ヲ認メマス、此案ハ全部ヲ通ジテ原案ノ通り決定
ト云フ事ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(清室太郎君) ソレデハ原案ノ通り決定致シマス、連日御苦勞デアリマシ
タ、是デ閉會致シマス

午前十一時三十一分散會

大正七年三月二十三日印刷

大正七年三月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局